

静岡県における主な犯罪被害者支援窓口

支援機関・団体	支援内容	電話番号
静岡県	● 各種支援に関する情報を提供	犯罪被害者等支援 総合調整窓口 054-221-3220
	● 交通事故被害に関する相談	交通事故相談 054-202-6000
静岡県警察	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種犯罪、事故等の総合相談 ● 被害者等への情報提供 ● カウンセリングの実施 ● 再被害防止対策 	各警察署の 警務課相談係 ----- 警察本部 ふれあい相談室 054-254-9110 ----- 警察本部 犯罪被害者支援室 054-271-0110(代)
NPO法人静岡犯罪被害者支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話相談 ● 面接相談 (専門相談員や臨床心理士が対応) ● 法律相談 (犯罪被害者支援対策委員会所属の弁護士が対応) ● 裁判所、検察庁、警察署、病院等への付添い 	054-651-1011
日本司法支援センター 静岡地方事務所 (法テラス静岡)	<ul style="list-style-type: none"> ● 刑事手続きの流れ・法制度に関する情報提供 ● 支援に精通した弁護士の紹介 ● 支援を行う機関・団体の紹介 	犯罪被害者支援 ダイヤル 0570-079714
静岡県弁護士会	<ul style="list-style-type: none"> ● 犯罪被害者相談 ● 刑事裁判での被害者支援・損害回復支援 	054-252-0008

【お問い合わせ】

静岡県くらし交通安全課

電話 054-221-3714

【印刷用の紙にリサイクルできます。】 この印刷物は、10,000部作成し、1部あたりの印刷経費は3.6円です。

犯罪被害者を支える 社会づくりを目指して



理解する 心がつなぐ 支援の輪

静岡県・静岡県警察

犯罪被害者とそのご家族の現状

犯罪被害者やそのご家族・ご遺族は、突然予期せぬ暴力や交通事故に遭い、身体的・経済的被害や精神的被害を受けるだけでなく、周囲の無理解、うわさ話や取材・報道によるプライバシーの侵害などにより苦しんでいます。

犯罪による直接的被害

生命、身体、財産

周囲の言動による傷つき

- 近隣のうわさ、中傷
- マスコミの取材、報道

心身の不調

- フラッシュバック
- 不眠、頭痛

孤立・不安



捜査・裁判に伴う負担

生活上の問題

- 経済的な困窮
- 住居が犯罪現場に

加害者からの更なる被害

- 報復への不安、不誠実な言動

被害者の現状を理解し支える体制が必要

県民の皆様は

- ◎ 犯罪被害者への理解を深める
 - ・無責任なうわさ話はしない
- ◎ 身近な人が被害に遭ったら
 - ・普段どおりに接する
 - ・プライバシーに踏み込まない
- ◎ 自分のできる支援を行う
 - ・家事を手伝う
 - ・支援ボランティアとして活動する

支援の充実

警察、県・市町
民間支援団体
その他支援機関・団体

支援の内容は裏面を御覧ください

犯罪被害者のご家族の声

殺人

私達家族は本当に幸せでした。こんな日がくるなんて夢にも思わず、毎日楽しく暮らしていました。

家族の幸せを自分の喜びや生き甲斐にしてくれて、大きな愛で私たち家族を包んでくれていたお父さんは、今はいません。主人はどんなに無念だったでしょう。その気持ちを考えると涙が止まりません。

主人は何も殺される理由のないまま身代わりの様に殺され、人権も何もなくなりました。でも加害者のような単純で残虐で自分勝手な人間でも生きている限り人権という名の下で保護されます。そんなことは納得できません。

殺人犯は、主人や私達が今まで払ってきた税金を使って弁護士を雇い、食事をし、衣類を与えられ、病気になれば治療もしてもらえるというのに、何で私達は何も悪いことをしていないのに、精神面でも生活面でも苦しい思いをしていかなければいけないのでしょうか。

渡邊しのぶさん「みかんのほな 被害者遺族の手記」(NPO法人静岡犯罪被害者支援センター発行)より抜粋

交通事故

まぶしいほどの未来が、希望が、抱えきれない大きな夢が、…。許せない。一人の人間の飲酒、スピードの出しすぎという悪質な運転による事故。大事に育て、見上げるほど大きく立派な青年に成長した息子を、私たち家族の下から奪い、大きな悲しみを与えた。

悲しみ、絶望を与えた人間は、わずか1年2か月の実刑で終わりです。また元の生活が出来るんです。おかしいと思いませんか?たとえ百歩譲っても絶対に納得できません。

納得できない事が、まかり通る現実に絶望しています。

お酒も、車も、それを実際に手にする人の常識の無い行動が一瞬にして凶器に変えてしまいます。奪われた命、残された家族の思いは、いつか息子に会う日まで、ずっと続きます。

裕幸に逢いたい。声が聞きたい。お母さん、お父さん、お兄ちゃんの今の願いは、ただそれだけです。

酒井妙子さん「いのち・未来へ」(NPOいのちのミュージアム編集)より抜粋